

— ふるさとを愛し未来を拓く子の育成をめざして —

今だからこそ、ESD!

～今だからこそ、できることとは?～

新居浜市一宮町一丁目5番1号 学校教育課
(0897) 65-1301

世界では、新型コロナウイルス感染症拡散の減速または停止を目的とした「社会的距離戦略」の実施により、約15億人の子どもや若者が学校に通えなくなり、多くの人々が仕事を失い、経済的損失と社会的な孤立を余儀なくされています。緊急対策による遮断や隔離は、貧困や疾病、紛争、迫害などで苦しんでいる人々に、さらなる影響を及ぼす結果となっています。

特に憂慮すべきは、憎むべきはコロナウイルスそのものであるはずなのに、得体のしれないその感染症への恐怖心からか、その矛先を感染してしまった方々に向ける人が多いことに驚愕しています。元来、人間はお互いに支え合って歩むべきです。不当な差別、偏見、いじめ、SNSでの誹謗、中傷等があってははいけません。最悪の状況ではありますが、今一度、ESDを、つまり「持続可能な社会とはどうあるべきか」ということを考え直すよい機会と捉えることはできないでしょうか。今の状況下において、SDGs（持続可能な開発目標）一つ一つのゴールを再確認すると、現在、混乱の中から課題意識が整理され、明確化・共有化を進めることができます。まさに我が国の、そして世界の問題解決能力が試されているのだと思います。

学校教育においても、そのような視点をもって、自分事としての世界の情報に向き合っていくと、私たちの世界に対する認識や行動にも大きな深まりや変容をもてるように感じます。私たちも柔軟な思考力や的確な判断力と実行力を身につけ、子どもたちの、そして私たち自身の未来を支えていかななくてはなりません。持続可能な社会づくりのためには、これまで慣習として行われてきたことをゼロベースで見直したり、人との関わり方を見つめ直したり、イノベーションを起こしたりする機会と捉えることが大切だと思います。

持続可能な我がまち「にいほま」
— 誰ひとり取り残さない教育 —

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



Think Globally. Act Locally
「地球規模で考えて、地域で行動しよう!」

- 私たちは、持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。
- 新居浜市内全小・中学校がユネスコスクールに登録しています。
- 私たちは、コミュニティ・スクールとして活動しています。

新居浜市教育委員会  2020.3

「ちょっといい話」のコーナー

これは、アメリカ（デトロイト）でのお話。妻が看護師である男性が、「FREE GAS FOR NURSES（看護師のための無料ガソリン）」という看板を持って、病院の近くのガソリンスタンドの前に立っていた。医療従事者らが通勤に使う車のガソリン代を、代わりに支払うためだった。男性は、900ドルの貯金で、看護師50～80人のガソリン代を支払った。そんな男性に続くように、今度は、200ドルで看護師たちのガソリン代を支払う女性も現れた。「看護師は英雄です。看護師たちを支援するために何かできることをしたい!」と彼らは話している。

今、多くの医療従事者の方々が命がけで新型コロナウイルス感染症と闘っています。その大きな精神的な重圧は計り知れません。日本でも医療従事者の方々を励まし支援する取組に、もっと力が注がれるべきだと思いませんか。



第10期ユネスコスクール SDGs アシストプロジェクト(惣開小学校)



自然いっぱい！生き物いっぱい！王子ヶ丘の自然を守れ！

愛媛県新居浜市立惣開小学校

参加人数 332人
その他(愛媛県総合科学博物館) 1人

助成活動期間 2019年4月～2020年2月

保護学費 小学生 10万円枠 愛媛県
理科 総合的な学習の時間



日本ユネスコ協会連盟 HP より

第10期ユネスコスクール SDGs アシストプロジェクトのホームページに惣開小学校の『自然いっぱい！生き物いっぱい！王子ヶ丘の自然を守れ！』の昨年度末までの活動の様子の一部が紹介されています。是非、ご覧ください。

学校に隣接する「王子ヶ丘」にどのような生き物が現存しているか、観察・調査活動を行ったり、フジバカマを植えてアサギマダラの飛来を助けたりする活動を通して、環境に対する関心を深め、ふるさとや自然を愛する心や態度を育てるとともに、未来に豊かな自然を残していこうとする実践的な行動力を育てることをねらいとして行っています。

【参加した児童の感想】

毎年、アサギマダラが飛んでくるのを楽しみにしています。これからも、毎月行っているラブ&スマイル(地域の奉仕活動)に参加し、少しでもより良い環境づくりに努力していきたいです。

広がる、つながる、SDGs ～身近に展開されている SDGs 達成のための取り組み～



展示会タイトル

作成したデータや資料を送付して、展示方法はお任せという形ですが、少しでもSDGs達成に向けたESD推進の輪が広がることを期待しています。新居浜市教育委員会は、四国内外を問わず、全国各地のESD関係団体と連携し、子どもたちに持続可能な明るい未来を残すべく取り組んでいます。

このような展示会を通じて、四国を中心としたESD拠点の取組を各地で紹介させていただき、より良い地域連携・活性化を目指していきたいと考えています。今や、SDGs達成に向けた取組は、世界の関心事であり、社会生活のみならず、学校教育においてもあらゆる場面で深く関わっています。大学受験や就職活動の際にも、面接や論文等でテーマに挙げられることも増えています。新聞記事や展覧会等において、ESD、SDGs、持続可能な社会等のキーワードを見掛けた際には、目を留めていただけたら幸いです。

NPO法人えひめグローバルネットワークは、5月19日～6月14日の間、今治市立中央図書館において、『広がる、つながる、SDGs～身近に展開されているSDGs達成のための取り組み～』というタイトルで、SDGs関連の展示を行っています。

その展示会に、四国各地のESD推進団体とともに、新居浜市教育委員会の取組についても紹介していただけることとなりました。



入り口からの様子



新居浜市教育委員会コーナー